



ちびっこ探険学校ヨロン島体験記

今年も鹿児島県与論島で「ちびっこ探険学校ヨロン島」が開催されました。3月27日から4月2日の6泊7日で、本町から16名の小学生が参加しました。

島での野外活動を通じて自然の恵みを肌で感じ、団体生活の中では規律や仲間と助け合う大切さを学びました。また、外国の子ども達と交流することで国際感覚を養いました。

今回は、4名の子ども達の体験記を紹介します。

『サイン集め』 高橋 芙陽ふよう

私の民宿、南海民宿では、サイン集めというものがありました。サイン集めでは、民宿のおじさん、おばさん、民宿長、それぞれの班のリーダー、日本の子供、外国の子供、インドネシアやアメリカの学校の先生、計55人からサインをもらいます。一まいの紙に55個の円があり、その円の中に一人ずつサインを書いてもらいます。私の場合、2日で全員のサインをもらうことができませんでした。

それは、勇気をだして、外国の子供や知らない人に「サインください」「サインプリーズ」と声をかけたので全員のサインを集めることができたと思います。

私は、この経験をいかして様々なことに挑戦したいと思います。

例えば、知らない人に道を聞きたい時に積極的に声をかけることのように、迷わず声をかけたいと思います。

『ヨロン島での思い出』 大脇 颯真そつま

ぼくのヨロン島での思い出は四つあります。一つ目は外国人の友だちがたくさんできたことです。理由は、ふだんかんたんには会えない外国人とこのちびっこ探険学校ヨロン島の活動の中で仲よくなれたからです。

二つ目は、ヨロン島の海で泳げたことです。なぜかという、まだこの春の時期の北海道ではまだ少し雪が残っていて海で泳ぐことはできませんが、ヨロン島ではあったかくて海に入っ泳ぐことができたからです。

三つ目は、自分達で作ったイカダにのって、海でこいだことです。理由は、初日の夜から竹の結び方を練習して、次の日に班全員で持たないと持ち上がらないくらい重い竹を運んで、竹丸荘の人達といっしょに協力して作ったイカダに乗ったからです。海は少し寒かったけど、乗ってかえってきた時は達成感を感じました。

四つ目はアメリカンナイトでアメリカの遊びをしたことです。なぜかというアメリカの友だちとうまくコミュニケーションをとりましたが、アメリカの遊びや文化を学べたからです。

ぼくが一番思い出になったのは、たくさん友だちができたことでした。今はあまり英語をしゃべれないけど、英語の大切さを学んだのでもっと勉強したいです。

『ヨロン島の思い出』

藤田 朋大 ともひろ

ぼくは、3月27日から4月2日までの一週間、ヨロン島に行ってきました。最初は知らないところへ行くのは不安でした。でも、ヨロン島の人はみんな親切で、信頼できるリーダーやかけがえのない友達と出会うことができました。

ヨロン島では、ぼくが経験したことのないたくさんのことに挑戦してきました。その中でも思いに残っているのは、さとうきびしほりです。さとうきびは、細長くて竹のようでした。グループのみんなと協力して、長いさとうきびを石うすみたいな機械に入れて、ゆっくりまわしました。するとさとうきびがつぶれて、汁が出てきました。その汁を飲んでみると、とても甘くてびっくりしました。

ヨロン島での最後の夜には、ダンスナイトがありました。ぼくたちは「パーフェクトヒューマン」をおどりました。荘のみんなと一生懸命練習したので、笑顔で踊ることができました。最後に最高の思い出ができました。

他にもイカダ作りや、みんなで一緒に食べたご飯、サザンクロスセンターの見学など、ヨロン島では、数えきれないほどの思い出がいっぱいになりました。

勇気を出して、ヨロン島に行ったことで、みんなと協力することの大切さを知ることができました。

ヨロン島での経験を大切に、いろいろなことにチャレンジして、できることを増やしていきたいです。

『ヨロン島に行つて楽しかったこと』

小西 咲来 さくら

私が、ヨロン島に行つて楽しかったことが三つあります。一つ目は、サトウキビしほりです。理由は、みんなで協力してしほったサトウキビジュースの味は、甘くておいしかったからです。最初はもっと甘味が強いと思ったけど、思ったより味がよかったです。サトウキビジュースはもうそんなに飲めないと思います。それぐらい貴重な体験で、とても心に残りました。

二つ目は、ダンスナイトです。理由は、みんなとダンスをしたり、他の民宿の人のダンスを見たりするのが楽しかったからです。日本のジュニアサポーターの人や、民宿のリーダーの人もおどっていました。とても楽しかった夜でした。

三つ目は、友達がたくさんできたことです。初めは友達ができるか少し不安でしたが、ヨロン島に行つてたくさん友達ことができました。日本の友達だけではなく、外国の子ともたくさん友達になれました。フェリーでお別れる時、少しさみしかったです。外国の友達が手をふつてくれてとてもうれしかったです。また、このような企画に参加して、交流を深めていきたいです。



⇒7日間の貴重な体験を終え、無事に女満別空港に降り立った16名の子供たち。
佐呂間を出発した時よりも、どこか逞しい顔つきになって帰ってきました。
今回のヨロン島での体験がこれからの学校生活、さらにはそのもっと先の人生においても大きな財産となることでしょう！